

奈良市から 子育てに関するニーズ調査へのご協力をお願い



【小学生のお子さんの保護者の方への調査】

日頃より本市の子ども・子育て支援行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、本市では、平成27年3月に「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」を策定し、本市の子ども・子育て支援施策を推進してまいりました。本計画は5年ごとに策定することとなっており、現在次の5年間（平成32年度から平成36年度）を対象とした第2期の計画策定に向けて準備を進めているところです。

この度、第2期の計画を策定するにあたり、市民の皆さんの教育・保育サービス等の利用状況や今後の利用希望を把握するための調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは、市内にお住まいのお子さんの中から対象となる方を無作為に選ばせていただき、その保護者の方に送付させていただきました。

ご回答いただいた内容は、統計データとして処理されます。また、無記名でご回答いただくため、お答えいただいた方の個人情報や漏れたり、ご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しい中恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成30年12月
奈良市

ご記入にあたってのお願い

- ・ アンケートは**対象のお子さん**のことについて、保護者の方がご記入ください。
- ・ 回答は当てはまる番号を○で囲んでいただく質問と、数字などをご記入いただく質問とがあります。
- ・ 回答部分が選択肢の場合、お選びいただく数が質問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ 質問は順番どおりに回答していただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、質問の注意書きに従ってお進みください。
- ・ アンケートに記載されている事業やサービスの名称・内容が分からない場合はP3に記載している説明書きをご参照ください。
- ・ 封筒、アンケートともにお名前は記入しないでください。
- ・ ご記入いただきましたアンケート用紙は、**同封の返信用封筒に入れて12月17日（月）まで**に郵便ポストに入れてください。なお、切手を貼っていただく必要はありません。



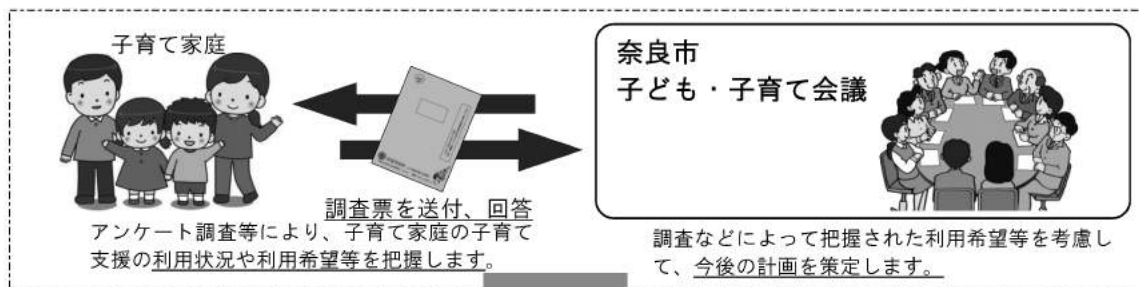
<アンケートに関するお問い合わせ先>

奈良市 子ども未来部 子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話：0742-34-4792 FAX：0742-34-4798

みなさんの回答が奈良市の子育て支援に活かされます。



第2期奈良市子ども・子育て支援事業計画（5か年計画）

幼児期の教育・保育や地域の子育て支援について

- ・量の見込み（現在の利用状況＋利用希望）
- ・確保方策（確保の内容＋実施時期）を記載。

計画に基づいて整備されます。

- ・幼稚園
- ・保育所
- ・認定こども園
- ・小規模保育
- ・放課後児童クラブ
- ・地域子育て支援センター事業
- ・一時預かり
- ・病児・病後児保育等



～「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」への反映～

平成25年9月に実施したアンケート調査の結果により、市民の皆さんの保育所や幼稚園等の教育・保育施設、また地域の子育て支援施策等の利用希望を把握し、これをもとに平成27年3月に市の子ども・子育て支援事業計画である「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」を策定し、計画を推進してまいりました。また昨年度は計画の中間年にあたり、その見直しのために再度アンケート調査を実施しました。この調査の結果から、必要な施策を検討しエンゼルサポート事業を開始する等、市の子育て支援施策を充実しています。

アンケート結果や計画の内容は市のホームページからご覧になれます。



奈良市子どもにやさしい
まちづくりプラン

（用語の定義）

この調査における用語の定義は以下のとおりです。

- 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して幼児教育を行う施設（学校教育法第22条）
- 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援



定期的に利用できる事業

放課後児童クラブ (バンビーホーム)

保護者の就労等の理由により、家庭で保育ができない子どもを対象として、授業終了後や夏休み等の期間において、家庭に代わる生活の場として、適切な遊びや指導を行います。

- ・対象学年 1学年～6学年
- ・利用料金 月額5,000円
(延長保育は月額2,000円を加算)
- ・実施施設 43箇所(公設)
- ・開所時間 (通常保育) 17時まで
(延長保育) 19時まで
- ・日曜日・祝日は開所していません。

ファミリー・サポート・センター

「子育ての援助を受けたい人」と「子育ての援助をしたい人」が会員として登録し、会員相互間で子育て等の援助を行う事業です。センターでは、会員相互の連絡調整を行っています。

放課後やバンビーホーム終了後に子どもを預けるような定期的な利用だけではなく、保護者の事情による一時的な利用も可能です。

地域の子育て支援や一時的に利用できる事業

放課後子ども教室

放課後等に小学校の余裕教室等を活用し、地域住民等の協力を得て、子どもたちが地域で心豊かに育まれる環境づくりを行っています。

活動内容については、各放課後子ども教室ごとに様々な取組を企画立案実行しています。

キッズホリデークラブ

教育センターにおいて、土曜日や日曜日等に親子で参加できる「科学実験」「ものづくり工作」「ロボット講座」などの教室を開催しています。また、季節に合わせたプラネタリウムの投影を行っています。

病児・病後児保育

子どもが病気もしくは病気の回復期で、保護者の仕事の都合で家庭での保育が困難な場合に、専用施設で預かり、保育を行います。

- ・対象年齢…小学6年生まで
- ・利用料金…1日あたり2,000円
(その他食事代等の実費あり)
- ・実施施設…病児保育 : 2か所
病後児保育 : 2か所

奈良市子育ておうえんサイト「子育て@なら」では、上記の取組のほかにも、奈良市での子育てに役立つ情報を掲載しています。

URL <http://www.naracity-kosodate.jp/>



小学生のお子さんを持つ保護者の皆さんに向けたアンケート

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの中学校区はどこですか(1つに○)

中学校区がわからない場合は、お住まいの町名を回答欄の最後にある()内にご記入ください。

1. 春日	2. 三笠	3. 若草	4. 伏見	5. 富雄
6. 都南	7. 田原	8. 興東館柳生	9. 登美ヶ丘	10. 平城西
11. 二名	12. 京西	13. 富雄南	14. 平城	15. 飛鳥
16. 登美ヶ丘北	17. 都跡	18. 平城東	19. 月ヶ瀬	20. 都祁
21. 富雄第三	※中学校区がわからない場合…()			(町) 丁目)

お子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問2 ご家族の状況についてお答えください。

(1)お子さんを含めて、お子さんは何人いらっしゃいますか。 ()人

(2)お子さんの生年月月をお答えください。 平成()年()月

(3)お子さんが2人以上の場合、一番下のお子さんの生年月月をお答えください。 平成()年()月

(4)お子さんと同居されている親族等(きょうだい以外)を①の欄にお答えください。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。但し単身赴任等で別居されている場合は②の欄に○をつけてください。

	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. その他の親族
①同居					
②単身赴任等で別居					

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問4 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

問5 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問5-1 問5で「1」～「4」とお答えの方にうかがいます。祖父母等の親族や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 安心して子どもをみてもらえる
2. みてもらう人の身体的負担が大きく心配である
3. みてもらう人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他()

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問6 お子さんの保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。

①～⑨の項目ごとに当てはまる番号1つに○をつけてください。※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。
※保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。

項目	父親	母親	
①就労の有無	1. 就労している(育休等含む) 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない	1. 就労している(育休等含む) 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない	
①で「1. 就労している(育休等含む)」とお答えの方は②以降もお答えください。「2」、「3」とお答えの方は⑥へ。			
就労している場合	②就労形態 「1」「2」の場合は育休中かどうかもお答えください。	1. フルタイム(育休中・育休中でない) 2. パート・アルバイト (育休中・育休中でない) 3. 自営業 4. その他()	1. フルタイム(育休中・育休中でない) 2. パート・アルバイト (育休中・育休中でない) 3. 自営業 4. その他()
	③1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間	※もっとも多いパターンをお答えください 就労日数 1週あたり()日 就労時間 1日あたり()時間 (残業時間を含む)	
	④家を出る時間と帰宅時間	※24時間制でお答えください(例:帰宅時間 19時) 1. 家を出る時間()時 2. 帰宅時間 ()時	
	⑤ ②で2パート・アルバイトで就労しているに○を付けた方	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい
就労していない場合	⑥就労希望はありますか	1. 就労したい 2. 就労したくない	1. 就労したい 2. 就労したくない
	1. 「就労したい」とお答えの方は、⑦～⑨にお答えください。		
	⑦希望の就労形態	1. フルタイム 2. パート・アルバイト 3. 自営業 4. その他()	1. フルタイム 2. パート・アルバイト 3. 自営業 4. その他()
	⑧希望の就労時期	1. 1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃就労したい 2. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい 3. その他()	1. 1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃就労したい 2. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい 3. その他()
⑨現在就労していない理由	1. 就労したいが仕事がない 2. 就労したいが子どもの預け先がないためできない 3. その他()	1. 就労したいが仕事がない 2. 就労したいが子どもの預け先がないためできない 3. その他()	

※フルタイム…1週あたり5日程度、1日あたり8時間程度の就労

※育休等…育休、産休、介護休

お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問7 平日の放課後のお子さんの過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとにあてはまるものを下の枠内の選択肢の中からそれぞれ1つ選んで表に番号を記入してください。

14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時以降

【上記それぞれの時間帯について下記から選んでください】

1. 学校にいた	7. 公園などで友達と遊んでいた
2. バンビーホーム(放課後児童クラブ)にいた	8. 児童館などの公共施設にいた
3. 保護者や祖父母などの家族・親族(大人)と過ごした	9. クラブ活動や地域活動(子ども会・スポーツ活動)
4. 家で兄弟姉妹と子どもたちだけで過ごした	10. 学習塾や習いごとに行っていた
5. 家で一人で過ごした(自分以外に誰もいない状態)	11. その他()
6. 友達の家にいた	

問8 お子さんについて、①小学校低学年(1～3年生)の間、又は②高学年(4～6年生)の間、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。①②それぞれ当てはまるものすべてに○をつけてください。また、それぞれ希望する1週間あたりの日数も記入してください。

お子さんが設問の学年にあてはまらない場合も「希望」としてご記入ください。

①お子さんが低学年(1～3年)のあいだの希望			②お子さんが高学年(4～6年)のあいだの希望		
1. 自宅	週	日	1. 自宅	週	日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日	2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日
3. 習いごとや塾	週	日	3. 習いごとや塾	週	日
4. 児童館	週	日	4. 児童館	週	日
5. 放課後子ども教室	週	日	5. 放課後子ども教室	週	日
6. バンビーホーム(放課後児童クラブ)	週	日	6. バンビーホーム(放課後児童クラブ)	週	日
下校時から()時まで(24時間制で記入)			下校時から()時まで(24時間制で記入)		
7. ファミリー・サポート・センター	週	日	7. ファミリー・サポート・センター	週	日
8. その他(公民館や公園)	週	日	8. その他(公民館や公園)	週	日

※「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校の余裕教室等を活用して学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問9 問8で「6. バンビーホーム」とお答えの方にかがいます。

お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、また夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に保護者が昼間に家庭にいない場合に、バンビーホームの利用希望はありますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

また、利用したい時間帯を()内に(例)9時から18時のように24時間制でご記入ください。

なお、バンビーホームの利用には一定の利用料がかかります。

土曜	日曜・祝日
1. 低学年の間利用希望 ()時から()時まで	1. 低学年の間利用希望 ()時から()時まで
2. 高学年も利用希望 ()時から()時まで	2. 高学年も利用希望 ()時から()時まで
3. 利用の必要なし	3. 利用の必要なし
夏休み・冬休み等長期休暇中	
1. 低学年の間利用希望 ()時から()時まで	
2. 高学年も利用希望 ()時から()時まで	
3. 利用の必要なし	

問10 各小学校区ごとに『放課後子ども教室』を実施していますが、その利用希望はありますか。

あてはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は希望の日数を数字で記入してください。

1. 利用したい	⇒	1週あたり() 日くらい
2. 今後も利用しない		
3. 対象のサービスが地域であまり実施されていない／実施されているかわからない		

お子さんのバンビーホーム(放課後児童クラブ)の利用についてうかがいます。

問11 お子さんについて、現在、バンビーホーム(放課後児童クラブ)を利用していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

※バンビーホーム(放課後児童クラブ)

地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生児童に、生活の場を提供するものです。

問11-1 問11で「1. 利用している」に○をつけた方は ①利用日数を数字で記入し、②利用している理由についてもあてはまる番号1つに○をつけてください。

利用している	①利用日数	1週あたり()日くらい ⇒ うち土曜日の利用(1. ある 2. ない)
	②利用している理由	お子さんの身の回りの世話を主にしている方が 1. 現在就労している 2. 家族・親族の介護の必要がある 3. 病気や障がいがある 4. 学生である 5. その他()

問11で「2. 利用していない」に○をつけた方は③利用していない理由と④今後の利用について
あてはまる番号に○をつけてください。

利用 して いな い	③利用していない理由	1. 現在就労していないから 2. 就労しているが ⇒	1 知らなかった 2 近くにない 3 空気がない 4 開所時間が短い 5 利用料がかかる ()	6 習いごとがある 7 子どもだけで大丈夫だから 8 ほかの施設に預けている 9 その他
	④今後の利用について	1. 利用したい ⇒ 2. 今後も利用しない	1週あたり()日くらい うち土・日の利用希望 (あり・なし)	

お子さんの居場所についてうかがいます。

問12 家の近くの子どもの遊び場について、日ごろ感じていることはありますか。下の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 近くに遊び場がない	8. 緑などの自然が少ない
2. 雨の日に遊べる場所がない	9. 遊び場やその周辺が環境が悪くて、安心して遊べない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない	10. 遊び場周辺の道路が危険である
4. 遊具などの種類が充実していない	11. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
5. 不衛生である	12. その他()
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする	13. 特に感じることはない
7. 遊具などの設備が古くて危険である	

問13 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場
2. 子どもが放課後などに集って、子ども同士で自主活動などができる場
3. 子どもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場
4. 子ども自身が悩みを相談できる場
5. その他()

お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問14 平日の定期的な教育・保育事業を利用しているとお答えの方(問7で「1」または「2」と答えた方)にうかがいます。
この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった	2. なかった
--------	---------

問14-1 問14で「1. あった」とお答えの方にうかがいます。

その際の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

1年間の対応		総日数
1. 休みをとった →	1. 父親がとった 2. 母親がとった	()日 ()日

問14-1のつづき

(休みをとらず対応した場合)	総日数
2. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	()日
3. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	()日
4. 病児・病後児の保育を利用した	()日
5. ベビーシッターを利用した	()日
6. ファミリー・サポート・センターを利用した	()日
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
8. その他()	()日

問14-2 問14-1で「1. 休みをとった」とお答えの方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設等を利用したい」と思いましたか。

あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。

なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば利用したかった ⇒()日	2. 利用したいとは思わなかった
➡ 問14-3へ	➡ 問14-4へ

問14-3 問14-2で「1. できれば利用したかった」とお答えの方にうかがいます。

上記の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思えますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園や保育所等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業
2. 小児科等の病院に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業
3. 奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業
4. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
5. その他()

問14-4 問14-2で「2. 利用したいとは思わなかった」とお答えの方にうかがいます。

そう思う理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	5. 利用料がかかる・高い
2. 質に不安がある	6. 利用料がわからない
3. 近くに施設がない	7. 親が仕事を休んで対応する
4. 利用可能時間・日数が合わない	8. その他()

問14-5 問14-1で「2」～「8」(休みをとらず対応した)とお答えの方にうかがいます。

(1) 休みを取らなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	3. 休暇日数が足りないので休めない
2. 自営業なので休めない	4. その他()

(2) その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。いずれかに○をつけ、「1」の場合は問14-1の「2」～「8」の日数のうち仕事を休みたかった日数について数字でご記入ください。

1. 思った …できれば仕事を休んで看護したい ⇒()日	2. 思わなかった
-------------------------------	-----------

お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問15 奈良市では、下記の事業や取組を行っていますが、この中で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業	A 知っている		B 利用したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①教育相談窓口(教育センター)						
②特別支援教育の相談(教育センター)						
③子育ての総合相談窓口(家庭児童相談室)						
④放課後子ども教室(小学校や公民館等)						
⑤児童館の各種教室						
⑥ファミリー・サポート・センター						
⑦キッズホリデークラブ(教育センター)						
⑧くろかみやま自然塾						
⑨子育て@なら(子育て応援ホームページ)						
⑩なら子どもサポートネット(不審者情報メール)						

お子さんの一時預かり等の利用状況についてうかがいます。

問16 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も()内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数【年間】
1. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	()日
2. 夜間養護等事業:トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間に子どもを預かる事業)	()日
3. ベビーシッター	()日
4. その他()	()日
5. 利用していない	—

問16-1 問16で「5. 利用していない」と答えた方は、その理由にあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がかかる・高い
2. 利用したいサービスが地域にない	7. 利用料がわからない
3. 質に不安がある	8. 自分が利用できるかどうかわからない
4. 近くに施設がない	9. サービスの利用方法(手続き等)がわからない
5. 利用可能時間・日数が合わない	10. その他()

問17 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用したいと思いませんか。いずれか1つに○をつけてください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	➡ 問17-1へ	2. 利用する必要がない	➡ 問18へ
----------	----------	--------------	--------

問17-1 問17で「1. 利用したい」とお答えの方は、希望としては年間何日くらい利用したいと思いますか。

また、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

①②それぞれあてはまる番号すべてに○をつけ、①については目的別の日数を()内に数字でご記入ください。

①利用目的	年間日数
1. 私用(買物等)、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的	()日
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や親の通院等	()日
3. 不定期の就労	()日
4. その他()	()日
②事業形態	
1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)	
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域の子育て支援拠点等)	
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)	
4. その他()	

問18 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを「泊りがけ」で家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含まれます)。あった場合は、この1年間の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も()内に数字でご記入ください。

1年間の対応		
1. あった	1. 親族(同居者を含む)・知人にみてもらった	()泊
	2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)	()泊
	3. 「2」以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	()泊
	4. 仕方なく子どもを同行させた	()泊
	5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()泊
	6. その他()	()泊
2. なかった		

問18-1 問18で「1. あった」「1. 親族(同居者を含む)・知人にみてもらった」とお答えの方にうかがいます。お子さんを親族・知人にみてもらうことは難しかったですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に難しかった	2. どちらかというと難しかった	3. 特に難しくなかった
-------------	------------------	--------------

育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度についてうかがいます。

問19 お子さんが生まれた時、母親・父親のいずれか、または両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を番号でご記入ください。

母親(いずれかに○)	父親(いずれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない 理由番号()	3. 取得していない 理由番号()

【3. 取得していないとお答えの方の理由番号は以下から選んでください】(理由にあてはまるすべての番号をお選びください)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
2. 仕事が忙しかった	10. 子育てや家事に専念するため退職した
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった	11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	13. 育児休業を取得できることを知らなかった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	14. 産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した
7. 保育園などに預けることができた	15. その他()
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	

※産前産後…産前6週間、産後8週間

問19-1～19-7は母親の方のみお答えください。

問19-1 問19で「2.取得した(取得中である)」とお答えの方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	2. 現在も育児休業中である	3. 育児休業中に退職した
--------------------	----------------	---------------

問19-2～19-7は問19-1で「1. 育児休暇取得後、職場に復帰した」とお答えの方のみお答えください。

問19-2 問19-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
 ※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問19-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

実際の復帰時期 …お子さんが()歳()か月のとき復帰した
希望の復帰時期 …お子さんが()歳()か月のとき復帰したかった

問19-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

希望としては()歳()ヶ月まで

問19-5 実際の復帰と希望が異なる方に、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 2. 配偶者や家族の希望があったため | 5. 職場の制度の都合のため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため | 6. その他() |

(2)「希望」より遅く復帰した方(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため | 5. 子どもをみってくれる人がいなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 6. その他() |

問19-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

※短時間勤務制度とは、小学校に入学するまでの子どもを養育するために、常勤職員のまま、いくつかある勤務形態から選択し、希望する日及び時間帯に勤務することができる制度です。

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった) |

問19-7 「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と答えた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される |
| 4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた |
| 6. 子育てや家事に専念するため退職した |
| 7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) |
| 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 9. その他() |

ご協力ありがとうございます。
アンケート終了までもう少しです。
最後に、子育てに関する困りごとについてうかがいます。



子育てに関する困りごとなどについてうかがいます。

問20 奈良市における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。
満足度を5段階評価してください。

1	2	3	4	5
(低い)	←————→			(高い)

問21 子育てに関する情報をどのように入手していますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親族(親、きょうだいなど)	7. 子育て雑誌・育児書
2. 隣近所の人、知人、友人	8. インターネット
3. 学校・保育所・幼稚園・こども園	9. コミュニティー誌
4. 市役所や市の機関	10. その他()
5. 市の広報やパンフレット	11. 情報の入手先がない
6. テレビ、ラジオ、新聞	12. 情報の入手手段がわからない

問22 子育てに関して日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病気や発育・発達に関すること	12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと
2. 食事や栄養に関すること	13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること
3. 育児の方法がよくわからないこと	14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと	15. 子どもを叱りすぎているような気がする
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと	16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり世話をしなかつたりしてしまうこと
6. 話し相手や相談相手がないこと	17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	18. その他()
8. 子どもの教育に関すること	19. 特にない
9. 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	
10. 不登校などの問題について	
11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	

問23 子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー	11. 母子相談員
2. その他の親族(親・きょうだいなど)	12. 民生・児童委員、主任児童委員
3. 隣近所の人、地域の知人、友人	13. 教育センター(教育相談窓口)
4. 職場の人	14. 地域子育て支援拠点(ひろばやセンター等)のスタッフやボランティアの人
5. 学校・保育所・幼稚園・こども園の保護者の仲間	15. 中央こども家庭相談センター(児童相談所)
6. 子育てサポーター	16. 民間の電話相談
7. 学校・保育所・幼稚園・こども園の先生	17. インターネットを利用したコミュニケーション
8. 医療機関の医師・保健師・看護師・栄養士など	18. 相談相手がない
9. はぐくみセンター(保健所)や保健センターの保健師、助産師、栄養士など	19. その他()
10. 家庭児童相談室(子育て相談課)	20. 相談すべきことがない

問24 妊娠中や出産後3か月以内に家事・育児に関して困ったことはありましたか。

あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 上の子どもの世話	5. 子どもの病気
2. 家事	6. 経済的負担
3. 出産の際の病院等への移動手段	7. 家族の協力が得られないこと
4. 健診時の病院等への移動手段	8. その他()

問25 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。サポートを受けたことがある方は良かったことや、受けてどうなったか(解決につながった、など)について自由にご記入ください。

(希望するサポート)
.....
(実際に受けたサポートと、良かったこと、受けてどうなったか)

子どもにやさしいまちについて質問します

問26 奈良市は子どもにやさしいまちだと感じますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. とてもそう思う	3. あまり思わない
2. そう思う	4. まったく思わない

問26-1 子どもにやさしいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

※「子どもにやさしいまち」は子どもが自立するための知識と経験を得られるよう子どもへの支援及び子育て支援に社会全体で取り組み、一人一人の子どもが安心して暮らすことのできるまち、と定義づけられています。子どもにやさしいまちを推進していく上で必要なものは何だと思えますか。

1. 子どもに関する施策について、適切な情報提供がされ、子どもが意見表明や参加する機会がある
2. 安心して子育てできる環境がある
3. 困難を有する子どもと家庭に対し必要な支援がある
4. 有害及び危険な環境から守るための安全な環境がある
5. 子どもが安心して過ごすことができる居場所や遊び場がある
6. 子どもが地域行事へ参加し、ともに活動できる環境がある
7. 子どもが安心して容易に相談できる体制がある
8. その他()

問27 奈良市は子育てしやすいまちだと感じますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. とてもそう思う	3. あまり思わない
2. そう思う	4. まったく思わない

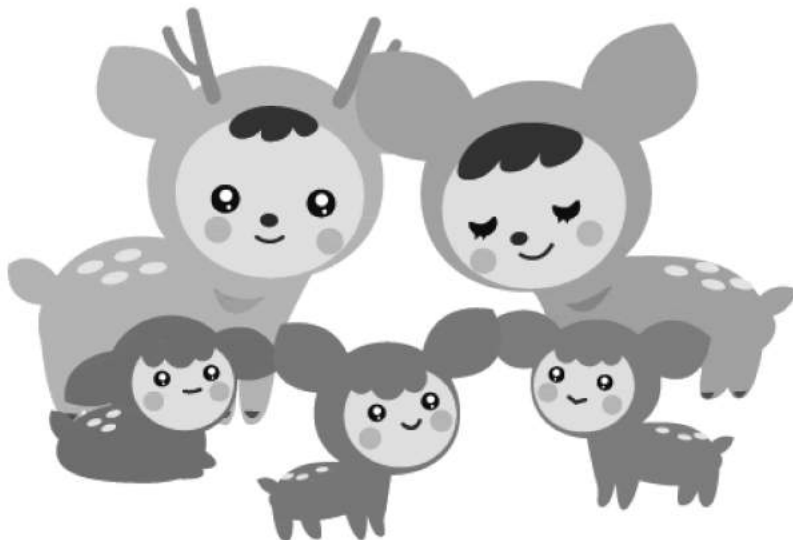
問27-1 子育てしやすいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1. 経済的支援が充実している	6. 子どもにとって安全な環境がある
2. 子どもや子育てに関する相談窓口が充実している	7. 近隣にショッピングができる環境がある
3. 教育・保育に関する環境が充実している	8. 職場が近く、ワークライフバランスが保たれている環境がある
4. 子育て住宅が整備されている	9. 公共交通機関が整備されている
5. 親子で外出する環境が整備されている	10. その他()

自由記述

問28 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

以上でアンケートは終了です。
お忙しい中、最後まで記入いただきまして、ありがとうございました。
ご回答いただいた内容は、統計データとして処理し、今後の計画に活用します。



奈良市の子育ておうえんサイトをご存知ですか！？

子育て@
なら
あっと

子育て@ならは、奈良市での子育てに必須の情報をわかりやすく整理して掲載しています。パパ・ママ達の子育てのヒントになるサイトを目指しています。

なら子育て情報ブックのダウンロードができます。

URL <http://www.naracity-kosodate.jp/>

